

(様式2)

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	川西市立 多田小学校 栄養教諭 川上 陽子	研究グループ名 (食教育研究グループ)	採択番号
-----------------	--------------------------	------------------------	------

研究テーマ分類番号(8)

県教育委員会のホームページに掲載します。

(1)研究テーマ
つながりのわの中で、生きる力を育む食育
(2)研究経過及び具体的な取組
<p>* 8月7日 調理実習・講演「食de授業 岩手のおやつで体験」(川西小学校：36名) ～(宮澤賢治のお菓子な世界)～ 講師 料理研究家 13:00～14:30 調理実習 がんづき作り 14:30～16:00 宮澤賢治とおかしのはなし</p> <p>がんづきはケーキミックスを使わず昔からの道具で作った。6年生の国語科で宮澤賢治の「やまなし」を学習する。「がんづき」は、岩手、とくに賢治のふるさと花巻から一関周辺で、むかしからある蒸しパンのような食べ物で、宮澤賢治の作品には食べ物がたくさん出てくる。どんなものが食べてみたいと思う興味を引く内容である。国語で学んだことから興味が広がり、宮澤賢治の育った地に思いをはせたり、岩手の自然に感動したり、震災で被害のあった方の苦しいであろう生活に思いを寄せたりする良い機会となった。6年に体験させたいと思う良い研修会だった。</p> <p>* 4月・5月～10月・11月 地元産物の活用を図る取り組み。(各11名)</p> <p>今年度、調理師会が主体となって、地元川西産の玉ねぎ・里芋・岩津ねぎを学校給食に取り入れる取り組みが始まった。本研修会も調理師会と連携し、地元農家とのつながりを深め、給食で使用する野菜の収穫を行い、作り手の思いがと伝わる良い給食ができた。これからも積極的に地場産物を活用し、これらを生きた教材として指導に役立てていきたい。</p> <p>また、地元農産物を学校給食に活用することで、食と「いのち」のつながりを学ぶ機会としたい。</p> <p>* 川西市学校給食展に向けて 9月24日 10月21日 11月23日 テーマ・展示・試食内容等打ち合わせと準備</p> <p>* 1月25日 川西市学校給食展の開催 予定</p> <p>* 12月17日 川西小学校 家庭科室 講演「だしについて」 講師 araifood プランニング 予定</p>

- * 1月 6日 農作物の作り方・土作りの方法 多田農園 予定
- * 年間を通して 学校給食を生きた教材として食育を推進するために、様々な教育活動に活かせる献立を立案したり、各教科との関連で「食で教える授業」を提案したりする。
- * 2月 各校の交流